

# 奥が深いので使い方を 飽きることなく追及できる

## 赤坂AAクリニック

開業時に痩身メニューを考えていて出会ったのが「インディバ®」それから11年が経ち、今では美容のみならず統合医療においても多に役立っているほか、さまざまな場面で併用しているとのこと。一般的な美容機器には抵抗がある男性も、「インディバ®」なら抵抗なく受けているそうです。

Q：導入の経緯は。

A：開業時から痩身に使えるものと考えていたのですが、患者さんから評判を聞いて興味を持ったのです。インディバ・ジャパンを訪ねて、効果もさることながら、機器の8年保証や無料の講習体制などにも安心感を抱いて導入を決めました。

Q：インディバ・ジャパンのアフターサービスも導入の決め手になったのですね。

A：8年という長期保証は、それだけこわれない自信があることがうかがえましたし、無料で講習を受けられるという点は、「インディバ®」を正しく使うためにありがたいことです。導入の段階では、どのくらい使いこなせるのか不安もありましたが、講習を聞き、技術がしっかりすれば必ず効果が上がるという確信も得ました。今は新しいスタッフが入れば必ず受けさせています。実際には全員が「インディバ®」の施術を行うわけではありませんが、全員が「理解している」ということは大きいと考えています。

Q：現在の「インディバ®」の活用法は。

A：当初は痩身目的、つまり美容で使用していました。ちょうどメソセラピーを始めた頃でしたから、これと「インディバ®」を併用したメニューや、EMS機器と組み合わせてみたり。しかしだんだん温熱による治療効果にわたしの関心が向きはじめ、統合医療分野での使用が増えていきました。特にがんにおいては、患部をマイルド加温してから高濃度ビタミンC点滴を行うと、加温しない時に比べ1・5倍の治療効果が得られるのです。がん関連の患者さんが増えてきてからはフロアを分けていますが、今は治療目的の方の30%は、「インディバ®」の施術を受けています。

Q：患者さんからはどんな反応がありますか。

A：治療であれ美容であれ、皆さん「気持ち良かった」と言っただけですが、これはとても大事なことで、いい感情を持ってもらえると美容においては肌の活性化が早まり、治療効果も上がりやすくなるのです。わたしどもの場合、最初から「インディバ®」を使用するという方は少ないのですが、一度施術した方のリピート率は高いですよ。患者さんの男女比は50対50くらいで、一般的な美容機器には拒否反応を示す男性でも、「インディバ®」は喜んで受けています。

Q：「インディバ®」の魅力とは何でしょう。

A：「インディバ®」の技術は「インディバ®」でしか伝えられないということではないでしょうか。単独でも併用でも別の機器で代用できない効果がたくさんありますから。シンプルな温熱機器ですがその有効性は数限りなく、ずっと追及していきたくなりますね。私どもの院では美容医療、アンチエイジング、がん、そして予防医療クリニックなど手がけていることは多いのですが、どこであってても活躍の場がある、ありがたい機器です。



医療法人社団健若会総院長  
赤坂AAクリニック院長  
森 吉臣

獨協医科大学名誉教授  
NPO法人日本アンチエイジング  
メディカル協会理事長  
日本臨床抗老化医学会認定医  
キレーション療法認定医  
高濃度ビタミンC療法専門医  
細胞機能研究所 所長  
点滴療法研究会 ボードメンバー  
日本オゾン療法協会会長

## 赤坂AAクリニック

〒107-0052

住所 東京都港区赤坂3-13-10新赤坂ビル5F

Tel 0120-1222-48

Tel 03-3585-1211



INDIBA  
DEEP CARE